

令和5年度第2回西成特区構想エリアマネジメント協議会 こども・子育て専門部会 議事要旨

1 日 時 令和5年10月31日(月) 午後2時から午後4時まで

2 場 所 西成区民センター 1-1 会議室

3 出席者

【有識者】

村上教授(大阪大学大学院)、永橋教授(立命館大学)、水内教授(大阪公立大学)

【地域メンバー】

荘保委員(わが町にしなり子育てネット代表)、小林委員(NPO法人釜ヶ崎支援機構)、緋田校長(鶴見橋中学校長)、長谷校長(千本小学校長)

【西成区】

宇野子育て支援担当課長、森田子育て・教育支援担当課長代理、荒井こども家庭支援担当課長代理

【大阪市】

中村経理・企画課長代理、赤井経理・企画担当係長(こども青少年局)、國方指導主事、中村指導主事(教育委員会事務局)

4 議事要旨

(1) ヤングケアラー対策についての意見交換

- ・今年度以降実施する施策についてご意見をいただきたい。

【寄り添い型相談支援事業】

- ・受託事業者のふうせんの会と共同で冊子「自分と家族の味方をつくるブック」を作成。
- ・先輩ヤングケアラーによる相談を行っているが、どのように要請しているのか。
⇒受託事業者のふうせんの会は、現役や元ヤングケアラー等の当事者達の集まりにより構成されている。

【外国語通訳派遣事業】

- ・2割近くの児童が外国籍である現状において大変にニーズがある事業であると思うが、どのようにして支援に繋げているか。
⇒通訳の派遣が伴うこともあり、実際には相談しにくさという面がある。要請があっても初めに関われる。スクリーニング会議Ⅱなどで情報共有し支援が繋がる仕組みにはなっている。

【家事・育児訪問支援事業について】

- ・西成区で何人くらいの支援を想定しているのか。
⇒初年度は市全体で100件程度の支援を想定しており、必要に応じて随時実施していく。

(2) 不登校支援についての意見交換

【不登校特例校「心和中学校」の設置】

- ・どのような工程で進めているのか。
⇒次年度の入学転入に向け今ちょうど募集をしているところ。授業実数が770時間になることや、元の中学校に戻るか否か等、保護者との相談を進め、入学転入することがふさわ

しいかを判断している。

- ・不登校の状況は。

⇒不登校生徒は昨年度より22%増加している。半分が無気力や不安からくるもので、人間関係に課題のある子どもが増えている。

【その他】

- ・小学生児童の学力について、字が書けない、足し算ができない等、学力の遅れが目立つ児童がいる。児童自身が問題なのか、家庭や世の中に何か問題があるのか分からない。

⇒傾向として、中学校の全国学力テストに含めて実施するアンケートで、西成区の生徒の学習時間が、0時間と3時間以上等に二極化する結果となっている。これは、家庭での学習時間を表しており、家庭で勉強を見てくれる人がいないため、学習したくてもどんどん遅れてしまう等、家庭での学習環境が原因で不登校につながる事例もある。

- ・北津守地区に転入する外国人が多く、外国人児童生徒の学力も二極化の傾向がある。中国人で非常に勉強熱心な家庭もある。転入児童生徒の約半分は地元の学校に通い、約半分は私立中華学校に通っている。日本の学力を引っ張ってくれている児童生徒もいれば、他国の児童生徒で漢字は読めても書けないケースも多く、支援団体にかなりの数のSOSが寄せられていると聞く。学校現場の受け止めとしてはどのような感じか。

⇒入国して間もない児童生徒より相談があれば、初期面談により日本語の習得状況を確認し、2週間程度、センターの方で学校生活に必要な言語を身に付けてもらい学校に戻ってもらう。その後も授業について来れるかという課題もあるが、学校でサポーターを配置し支援するなどしている。当該センターは西成区内では、成南中学校と岸里小学校で実施している。

- ・プレーパーク事業の現状と今後の開催の見込みについて、不登校にも関わる問題でもあるので説明していただきたい。

⇒今年度当初に開催の拠点であるもと津守小学校にグラウンド不良が発生した。以前より水道の漏水等も発生しており、それも原因ではないかと推測している。いずれにしても廃校跡地のため、公費を投入した調査・修繕は困難であり、もと津守小学校での開催は困難であると考えている。当面は、代替地であるもと松之宮小学校、もと今宮小学校、公園等で巡回開催をしていくが、区政会議委員からも「こどもの居場所」として定点性がある方がよいとの意見もいただいております。拠点の必要性についても検討が必要である。事業自体を縮小する考えはないが、今後のプレーパーク事業のありかたについて、本協議会でも意見をいただきながら検討してまいりたい。

(3) 令和5年度エリアマネジメント協議会 こども・子育て専門部会のスケジュールについて(案)

- ・令和5年度のスケジュールについて説明。
- ・次回は2月以降の開催を予定。予算プレス後であれば令和6年度事業の速報的な議論も可能であるが、今年度の議論のまとめとして開催。